

脳神経外科

のたうち回る群発頭痛

季節の変わり目に毎日起こる「群発頭痛」は、圧倒的に男性に多く、のたうち回るほど激しく痛むのが特徴で、治療が困難なケースも少なくありません。激しい痛みは、1〜2時間続き、とても一人で病院に行けるような状態ではありません。

群発頭痛は、目の後ろの静脈に炎症が起こり発症します。就寝後に痛みが始まること

が多く、「体内時計」の乱れが関係しているかもしれませんが、不安に駆られて不眠になります。

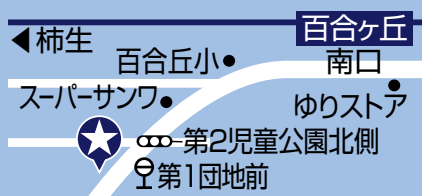
治療は、頭痛発作時に即効性のトリプタンの皮下注射を打つと、10分ほどで痛みが和らぎます。ただこの注射薬は高額ですから、日常の治療としては群発発作が起きないよう毎日予防薬を服用し、発作が起きたときだけ自己注射をするのが理想的です。

群発頭痛の予防薬は、脳の血管の異常な拡張を抑えます。服用を始めても、予防効果が表れるまでに、最低1週間はかかります。群発頭痛は予防薬で発作に備えることが大切です。



石田 和彦

■ 脳神経外科・整形外科
いしだクリニック



☎044-955-0250
麻生区百合丘2-7-1
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>